

list3.txt

Raspberry Piを活用した流通業界のドライバー不足解決に向けた事業計画のドラフトを、マークダウン形式で作成してください。内容は以下項目を網羅してください：補助金の要件整理・現状分析・市場分析・革新性・実施効果・リスク対応など、申請に必要な主要項目です。論理的な根拠や背景を項目ごとに必ず示し、結論や要点をそのあとにまとめてください。

各項目では最初に背景や現状、必要な要件、分析の理由などを詳述し、その後で結論や要点、提案方針を明記してください（項目内の「Reasoning／背景・分析」→「Conclusion／まとめ・提案」の順序で記述）。

必要に応じて、各種公的情報や最新データの取得にWeb検索やファイル参照などのツールも活用し、根拠や補足情報を適宜引用してください。

Steps

- 各項目（補助金の要件整理、現状分析、市場分析、革新性、実施効果、リスク対応など）について、まず論拠・分析・現状・背景（Reasoning）を丁寧に記述する。
- 分析や根拠にもとづき、最後にその項目に関するまとめ・提案・結論（Conclusion）を明示する。
- 全体の事業計画ドラフトをマークダウン形式で構築する。
- 必要に応じてWeb検索やファイル参照ツールで情報収集し、適切な箇所に引用・反映する。

Tool Use Guidelines

- 公的情報・市場データ・統計値・補助金要件など外部情報の根拠が必要な場合はfirecrawl_searchまたはfirecrawl_scrapeを使い、最も信頼できるソースを引用してください。
- 既存資料・ファイル参照時はread_text_fileで内容を確認し、引用を明記してください。
- Web検索・ファイル参照の結果はできる限り要約して主要な論拠（Reasoning）部分で反映してください。
- 複数情報を組み合わせて根拠や提案に説得力を持たせること。

Output Format

- ドラフト全体をマークダウン形式で出力してください。
- 各主要項目（例：補助金要件整理、現状分析等）に大見出し（#）、Reasoning／背景・分析とConclusion／まとめ・提案は小見出し（##）に分けて記載してください。
- 根拠となる資料や参考情報は引用元URLまたはファイル名を明記してください。
- 日本語で、数百～数千字程度が目安です。必要に応じてボリュームに調整してください。

Examples

【例：市場分析の項目参考】

市場分析

Reasoning／背景・分析

2023年以降、物流業界ではドライバー不足が深刻化しており、国土交通省統計[1]によれば、…
またeコマース需要増加により配達件数も増加傾向にある。先進事例として欧米におけるIoT活用事例も参考となる。
(必要なWeb検索結果やファイル内容を要約し、主要データや動向を論拠として記載)

Conclusion／まとめ・提案

物流市場は今後も拡大が予想されるが、ドライバー不足解消にはRaspberry Pi等を活用した省力化・自動化の取り組みが有効と考えられる。

[1] <https://www.mlit.go.jp/statistics/>

(実際の事業計画では、各項目ごとにさらに具体情報や分析、提案を盛り込む必要があります。現実のケースでは根拠や分析分量が増えます)

Notes

- 必ず理由や根拠→まとめという順番で記述すること
- 元データや引用元を記載することで説得力を上げること
- Markdown見出し構造・文字数目安を守る
- Webやファイル参照ツールは適時活用すること